9月議会

松村としお レポート

災害対策の強化を

地震・水害が各地で相次ぎ、
さいたま市の対策への質問・要望が寄せられています。



学校体育館へのエアコン設置はどこまですすんでる？

全中学校で設置済み。小学校はこれから。スピードアップを求めました。

大雨が降ったら心配。水害対策は大丈夫？

想定を超える雨量が続いています。水害の想定を見直し、対策を強化するよう求めました。具体的な個別地域の対応についてはお声がけください。

三室中央公園（ヌゥパーク）防災機能を充実させてほしい

防災機能を持った公園ですが、その標示がないので明示を求めました。また大型テントの用意や遮熱対策の充実を住民のみなさんとともに求めました（上写真）。

学童クラブへの支援を実現

放課後子ども居場所事業が市内各地ではじまり、広がっています。保護者から歓迎の声がある一方で、これまで子どもたちの放課後を支えてきた学童クラブ（放課後児童クラブ）の入室児童数が減って、運営の危機にさらされる事態も起きています。そうした訴えも受けて、私は学童クラブへの支援の枠組みをつくるよう議会で繰り返し求め、実現しました。

その結果、2024年･25年度の2年間で、市は20クラブに対して4300万円を支援しました。このなかに中尾・道祖土・尾間木小学区の学童クラブも含まれています。

既存の学童クラブへの影響を考えずに「放課後子ども居場所事業」をはじめた市の姿勢は問題です。これからも子育て世代の願いをしっかり市政に届けます。

子育て世帯などへ家賃補助制度を提案

民間アパートの家賃が上がり続けていますが、さいたま市内の市営住宅数は政令市中最下位（人口あたり）です。他の自治体ではすでに高齢者、障がい者、子育て世帯などに家賃補助を出しているところがあります。

私は、市営住宅を増やすとともに、当面は家賃補助制度の創設を求めました。市は「既存の施策がある」としつつ「居住の安定に資する。支援の在り方を研究したい」と答弁。現状では支援が不十分だと認めたかたちです。引き続きとりくみます。



2027年度予算で まちづくりの要望届ける

- 東浦和駅前商業施設への期日前投票所設置
- 浦和駅東口バス停にミスト装置設置
- 新見沼大橋付近に公衆トイレ設置
- 国道463号線の歩道整備の延長

●みなさんのご要望やご相談もお気軽にお寄せください●



日本共産党 さいたま市議会議員

松村としお

無料生活相談
第１・第３水曜日　午後３時～５時
無料法律相談
弁護士が相談にのります
お問い合わせ
松村としお事務所
緑区三室 2713-4
TEL・FAX　874-9666

議会報告 2026年9月議会
日本共産党さいたま市議団

〒330-0061
さいたま市浦和区常盤 6-4-4
さいたま市役所内
TEL 048-829-1811
FAX 048-833-8165

市議団 HP

バス路線が危機 支援を求める



運転手が足りない バス便数が434便減った！

市民の移動を支えるバス路線。市内全体で、１日の便数が直近２年間で 7469便から7035便へ、434便も減っていることが私の質問で明らかになりました。また廃止になった（なる）路線もあります。コミュニティバス等でフォローしていますが、不十分です。大きな原因は「運転手不足」とされています。

「支援を検討」市を動かす

緑区は人口も高齢者も増えているため、これまで私はコミュニティバスやデマンド交通などの充実を求めてきました。またバス路線や便数を「増やしてほしい」という声が私のところに多く寄せられています。この声に応えるためにはバス会社任せでは進みません。私は「運転手不足に対応した補助制度」をつくることを提案。「人材確保は極めて重要。有効な支援を検討する」と答弁がありました。待ったなしの課題として早急に実現するよう、引き続き働きかけます。

また、今議会では、党市議団がくりかえし求めてきた高齢者の運賃助成についても検討がすすむことがあきらかになりました。誰もが安心して生活できる地域をつくる「市民の足」の確保にがんばります。



原山市民プール

存続と施設の改善を求めました

存続求める署名は 2万5000人に

原山市民プールの存続を求める声は大きく、「存続を求める会」のみなさんが署名にとりくみ、8月26日に私も立ち会って市に提出。累計は約 2万5000人にもなりました。

私のところにも「沼影も原山もなくなったら困る」「安くて安全で親にとってもありがたい」などの声とともに、使いやすいプールへ施設改善の要望が寄せられました。実現に向けがんばります。



2027年度予算で要望

- 25ｍプールの改修
- 温水シャワーの設置
- 洋式トイレへの改修
- 日よけをさらに増やす

井沼方公園

橋がなくなる？

「井沼方公園の池（調節池）にかかる橋を早く直してほしい」という市民の声をいくつもいただきました。私の議会質問に「老朽化しているので撤去する。再建はしない」と市は答弁。私は再建するよう強く求めました。



物価高で 厳しいくらしが 浮きぼりに

市民アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度、党市議団がとりくんだアンケートにはさまざまなお声が寄せられました。とくに物価高に対する不満や要望が多く、厳しいくらしが浮きぼりになりました。9月30日、2027年度の予算要望 525項目を市長にとどけました。ひとりひとりの声が大切にされる市政の実現に向けて、これからもとりくみます。


525 項目の予算要望書市長に手渡す（9 月 30 日）

アンケートに寄せられた声

物価高で困ってる

- 買い物に行くたびに食料品が値上げで年金生活者には厳しい
- 子どもの保育料が高い
- マイナンバーカードをもっておらず市の物価高対策に申し込みできなかった
- 中学校給食費を無償にしてほしい
- 電気代もガス代も値上がりしている



さいたま市は保育料、中学校給食費、介護保険料などについて、無償化や減免を求めても「国の制度でやるべきこと」というばかり。自治体独自で無償化、減免策に取り組んでいる自治体はたくさんあります。

公共交通充実してほしい

- バスの便が減ってしまって困っている
- 100 円バスがなくなり、240 円になってしまった
- 乗り合いタクシーが満車で乗り切れない



市内の路線バスは 2024 年から 2026 年の３年間で 434 便も減便、廃止。バス運転手の人員確保が課題となっていますが、さいたま市として運転手確保のための補助制度がないのが問題です。

災害対策

- 集中豪雨で下水処理が追いつかず、何日もトイレが使えなかった
- 千葉のような豪雨災害がさいたま市でも起きないか心配
- 学校体育館は避難所でもあるのにエアコンがない



これまでさいたま市は、時間降水量 55.5㎜を目標に、雨水排水対策をすすめてきました。昨今の大雨はこの想定を大きく上回っています。計画降雨量を引き上げ、対策を進めていくことが必要です。

市に求めました

物価高対策

- 物価高対策の施策は、すべての市民に届くかたちで実施すること。
- 0~2 歳児の保育料を無償にすること。
- 中学校の給食費を無償にすること。

公共交通対策

- 高齢者に対する運賃助成制度を創設すること。
- AI デマンド交通を、基幹的な交通を補完するものとして導入を進めること。
- 住民の要求に沿ったバス運行を実現するよう、民間バス会社を支援すること。

災害対策

- 防火貯水槽、消火栓を 100%整備すること。防災予算の増額をはかること。
- 自主防災組織運営補助金の対象品目に「感震ブレーカー」を加えること。
- 分散型避難を想定した対応など、各地の豪雨災害の経験を生かした対策を進めること。

みんなの力で実現！

- 「核兵器のない平和な世界の実現に向けた一層の努力を政府に対して求める意見書」が全会一致で可決
- 市立小学校と特別支援学校小学部の給食費無償化が実現
- 中学生の平和学習派遣事業の継続
- 市立知的障がい特別支援学校設立へ
- ジェンダー主流化推進のための女性職員によるプロジェクトチームが立ち上がる
- 公契約条例制定のための検討がスタート
- 電動ストレッチャーが機動救急隊に導入
- 新見沼有料大橋が無料に（11/28 から）
- 補聴器購入助成制度の創設を市に求める決議があがる

一歩ずつ前へ提案



- 物価高対策はすべての市民を対象にするよう申し入れ（右写真）
- 中学校給食も無償化を
- 県水値上げでも水道料金の値上げするな
- オーガニックビレッジ宣言をうけて具体的な施策をすすめて
- 子どもの権利条例制定のために子どもの声を聴いて

コラム 公共とはなにか



地方自治体における「公共」とはなにか。私たちはその答えを「たとえ儲からなくても住民のためになる事業の実施のために積極的に支出すること」と考えています。そのため、さいたま市政において、「黒字化」や「利益」を主軸とした運営が、医療や福祉、教育といった本来利益を目的としない分野にまで波及していることに強い危機感を覚えます。

さいたま市は「予算が厳しい」として事業を縮小する一方で、毎年の決算では多額の黒字を出しています。しかし行政は単年度会計が原則であり、理想の収支は「プラスマイナスゼロ」であるべきです。多額の黒字とは、裏を返せば「市民から預かった大切な税金を、市民のために使い切らずにあまらせてしまった」ことにほかなりません。税金は、基金にため込むためではなく、市民の命と暮らしを守るためにあります。さいたま市は今、利益至上主義や削減ありきの姿勢から脱却し、税金を住民の福祉の向上のためにしっかり使い切る、という本来の役割に立ち返るべきです。

そもそも さいたま市の「財政はきびしい」の？

2025 年度の財政決算でさいたま市は **69億円の黒字**でした。また基金（貯金にあたる）は **1132億円**あります。**財政的な余裕は十分あります**。さらに**大型公共事業計画の見直しで税金のムダづかいを減らせば**、さまざまな**要求を実現できる財政力**を、さいたま市は持っています。